

地域支援センターしせい

第7号 地域支援センター通信 【平成31年2月8日発行】

～相談支援ファイル「かけはし」の活用～

暦の上では「春」ですが、ほほにあたる風はまだ冷たく、春が待ち遠しく感じられます。

さて、来週の12日（火）からは3回目の個別懇談週間となります。個別懇談の時には『相談支援ファイル』を持参していただき、担任の先生と活用状況を確認していただければと考えております。昨年度、相馬市でも「成長の記録ファイルそうま」という相談支援ファイルを作成し配付されましたが、今回は相談支援ファイル「かけはし」についてご紹介いたします。

相談支援ファイル「かけはし」は南相馬市で作成されたものです。本校では、新地町、相馬市出身のお子さんにも「かけはし」を配付し、活用してきました。以下は、南相馬市のホームページから抜粋した「かけはし」に関する説明文です。



「かけはし」を利用するメリット

- 1 ご本人が成長するとともに、所属機関や支援機関が変わっても、それまでの成長の経過や支援についての情報が引き継がれ、支援の継続性が保たれます。
- 2 複数の機関が関わっている場合に、支援情報が共有されることで、支援の一貫性が保たれます。
- 3 これまでの発達の経過や他機関の支援内容を、本人や保護者の方が繰り返し説明する負担を軽減し、伝え忘れを防ぐことができます。
- 4 情報が整理されていることで、緊急時や困ったときにも迅速に対応できます。

「かけはし」の3つの役割

“ためる” ～知らせたい情報をため込みます。～

- ・成長の経過についての情報
- ・相談歴、医療情報、福祉サービスの情報など
- ・現在の発達や生活の様子
- ・支援してほしいことの内容

“伝える” “つなぐ” ～知らせたい人に提示します。～

- ・ライフステージの移行期や、複数の機関の支援を受けている場合に、学校や支援機関に提示し、これまでの支援方針の引き継ぎや、それぞれの機関で互いの支援内容を共有することができます。
- ・転居先や病院など、新しい機関の利用を始めるときなど、これまでの成長の経過や療育等の経過について、同じ内容を説明する負担を軽減することができます。

「かけはし」はこんなときに活躍します

- ・入園・入学・進級・転校のとき
入園・入学・進級・転校などで担任の先生などの支援者が変わるときに、新しい先生や所属機関に提示し、これまでの支援内容や医療情報、支援の具体的な方法を伝えることで、途切れない支援を受けることができます。
- ・複数機関を利用しているとき
複数機関を利用している場合に、それぞれの機関に提示することで、支援方針が共有され、支援の一貫性が保たれます。
- ・医療や福祉サービスなど新しい機関の利用を始めるとき
医療機関を受診するとき、年金の申請、福祉サービス利用時などに、出生からの状況が確認でき、本人に合った支援を受けるために役立ちます。
これまでの成長の経過や療育等の経過について、同じ内容を繰り返し説明する負担が軽減されます。また、発達の経過や成長の記録として残すことができます。
- ・進学・就労のとき
進学や就労するとき、本人に合った支援を受けるために役立ちます。

保護者の方に相談支援ファイル「かけはし」の活用状況についてお聞きしました。活発に活用している方もいらっしゃいますが、「どう使ってよいのか、分からないので困っています。」と、とても正直なご意見も伺いました。そこで、活発に活用している方の活用方法をお伝えいたします。「これなら、私にもできる!」ということから、始めてみませんか。

まずは、必要な情報を“ためる”

「かけはし」は、
①プロフィール
②伝えたいページ
③相談・医療・福祉
④支援計画
⑤検査結果
の5つの項目に分かれています。

12月に父母と教師の会の茶話会で「国民年金・障害基礎年金」について、講師の方をお呼びして説明をしていただきました。

書類を申請するのは、20歳になってからですが、申請に必要な書類は今現在もあることを知っていますか。現在の情報を“ためる”ことが大切です。

③相談・医療・福祉
の項目のところに、次のような記録を書きます。
○放課後等デイ事業所に見学に行ったことについて
○病院の通院歴、処方された薬について
○診断された病名、障がい名、主治医について

③相談・医療・福祉
通院して薬が処方されたら、「お薬について」などの薬の説明書が渡されます。それを、ファイルに綴じてみましょう。

③相談・医療・福祉
放課後等デイ事業所など療育機関を利用している場合、「支援計画書」などが渡されています。その「支援計画書」もファイルに綴じてみましょう。

④支援計画
の項目のところに、次のようなものを綴じてみましょう。
○学校の個別懇談の資料
○学校の家庭訪問の資料
○学校の学級懇談の資料

⑤検査結果
の項目のところに、次のようなものを綴じてみましょう。
穴をあけたくない場合は、付属のクリアポケットを利用してファイルに綴じてみましょう。
○診断書
○診療情報提供書

相談支援ファイル活用法

本校の親子学級に参加する際、相談支援ファイルを持参して相談を行った保護者の方もいらっしゃいました。相談を行った私たちも、どのような歩みをしてきたのか、どんな関係機関とつながっているのかを知ることができて、お子さんの支援を考える参考になりました。これは、「伝える」ための活用方法です。

今回、「かけはし」の活用方法について紹介させていただきました。分からないこと、質問したいこと、確認したいことなどありましたら、担当までご相談いただければと思います。一緒によりよい活用方法について考えていきたいと思っています。

地域支援センター「しせい」担当：荒井郁絵